

廃墟

築八十年

九段下テラス

都心唯一公開廃墟系建築物



(C)Forward Stroke

九段下ビルは昭和二年、同潤会アパートと同じ年に同じ思想で建てられた震災復興建築物。昭和の名建築が惜しまれながら解体されていく中において、今なお現役使用中である。幸か不幸か建築史上、その重要性についてあまり取り上げられることがなかったからこそ、見事な廃墟美のままそこに存在していた。この建物は厳然として素っ気無く、しかも全く甘くない。賃貸を含む縦割りの所有形態はかつて一繋がりであった機能を分断し、開発対象となつた今、共用部の機移動をも拘束する。ちょうど一年前の夏、その一角を借り受けてマイナス要因を面白がることに決めた。いつかは消える建物。最期に近い場面に、多くの方々に立ち会って頂くことができれば幸いです。

二〇〇八年八月二十二日(金) 十九時十分 開場 十九時三十分 開演

怪談

人間国宝

一龍斎貞水

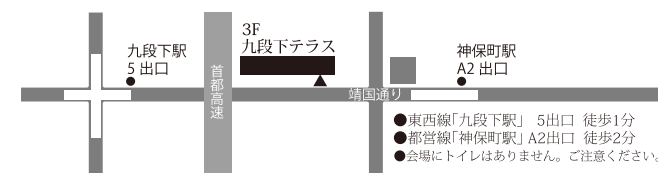
重要無形文化財保持者



「講談は守るべきものと開拓すべきものがあるを座右の銘とする大看板真打。その活動は多岐にわたり、自ら主催する講談・湯島道場や寄席の定席をはじめ、自治体主催のホール寄席・デイナーショー、海外公演・学校公演など幅広い公演活動を精力的に展開。講談師、夏はお化け、冬は義士で飯を食いとされるほど怪談師と忠臣蔵は大切な読み物(演目)。講談師として初の全編読みきり『四谷怪談』全5巻、忠臣蔵・本伝へ全15巻のCD化を実現。また子供向けの『一龍斎貞水の歴史講談』を著作TVラジオなどに多く出演。幅広い層に講談の魅力発信し続けている。特に怪談に関しては特殊演出効果を駆使した「立体怪談」と、その取り組みが関心を呼び「怪談の貞水」と言われる。

制作協力/株式会社 影向舎 <http://www.yougou.co.jp/> + 主催/領域探査デザイン <http://www.ryookitansa.com/>

協力/廃墟で怪談実行委員会 照明:内田裕子 映像:武井裕之・松田博明 Gデザイン:今林せいじ
記録写真:鈴木 忍 広報:新川尊子・林みか 企画:新藤典子



[当日の連絡先] 千代田区神田神保町3-4-1 九段下ビル3F 九段下テラス 090-2442-9568 シンドウ

廃墟で怪談

人間国宝 一龍斎貞水さんの講談で涼しくなる。

二〇〇八年八月二十二日(金) 十九時十分 開場 十九時三十分 開演
九段下テラスにて 日本の夏。粋な夏。

予約制

S席 ¥6,000 36席(豊敷) / M席 ¥3,000 8席(モニター席)
[予約] 領域探査デザイン03-6662-5350 / shindo@ryookitansa.com

廃墟賃貸・レンタルスペース
[問合せ] 03-6662-5350

S席 ¥6,000 36席(豊敷) / M席 ¥3,000 8席(モニター席)
[予約] 領域探査デザイン03-6662-5350 / shindo@ryookitansa.com